

# 平成28年（2016）3月 入域観光客数概況

3月の観光客数は、70万9,200人  
対前年（H27）同月比 +5万200人、+7.6%  
～3月の過去最高更新、年度は793万6,300人で3年連続過去最高～

## 入域状況

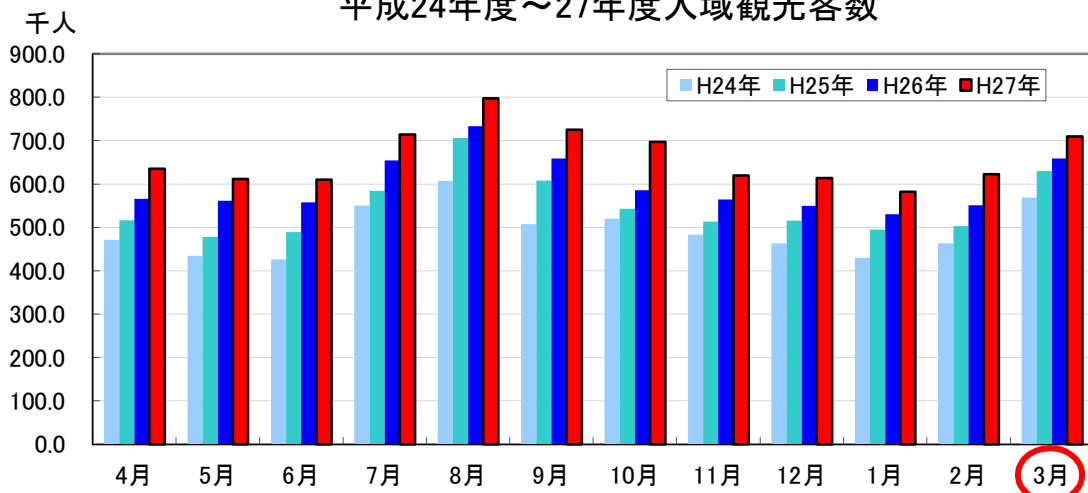
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	571,300 人	580,000 人	△ 8,700人	△ 1.5%	80.6%
外国客	137,900 人	79,000 人	+ 58,900人	+ 74.6%	19.4%
合計	709,200 人	659,000 人	+ 50,200人	+ 7.6%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	571,300 人	580,000 人	△ 8,700人	△ 1.5%	82.4%
外国客	121,700 人	73,600 人	+ 48,100人	+ 65.4%	17.6%
合計	693,000 人	653,600 人	+ 39,400人	+ 6.0%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要があり、関西や福岡、名古屋方面の入込は好調であったが、東京方面において提供座席数が減少したこと等から、前年を下回った。

4月は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬には茨城－那覇路線の直行便再開が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

3月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。

4月以降は、台湾及び韓国を中心に航空路線の拡充があることや、10年ぶりに中城湾港へ外国クルーズ船が寄港することを含めたクルーズ船の寄港回数の増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	271,500 人	279,600 人	△ 8,100人	△ 2.9%	47.5%
関西方面	119,400 人	117,700 人	+ 1,700人	+ 1.4%	20.9%
福岡方面	76,300 人	71,700 人	+ 4,600人	+ 6.4%	13.4%
名古屋	47,000 人	45,800 人	+ 1,200人	+ 2.6%	8.2%
その他	57,100 人	65,200 人	△ 8,100人	△ 12.4%	10.0%
合計	571,300 人	580,000 人	△ 8,700人	△ 1.5%	100.0%

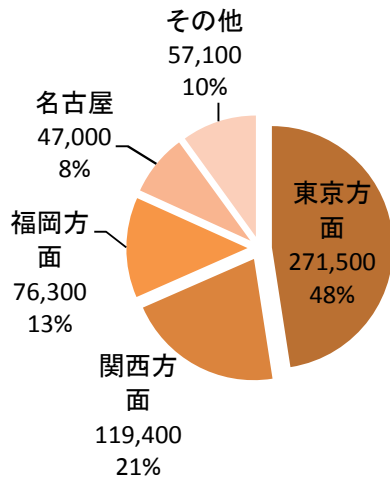
※国内海路客3,100人を含む(鹿児島2,600人、関西100人、横浜400人)

## 外国客 国籍別入域状況

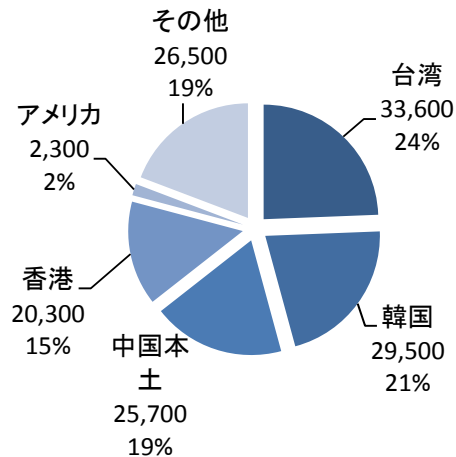
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	33,600 人	33,600 人	22,400 人	+ 11,200人	+50.0%	24.4%
韓国	29,500 人	29,500 人	19,100 人	+ 10,400人	+54.5%	21.4%
中国本土	25,700 人	25,700 人	10,300 人	+ 15,400人	+149.5%	18.6%
香港	20,300 人	20,300 人	14,300 人	+ 6,000人	+42.0%	14.7%
アメリカ	2,300 人	2,300 人	1,800 人	+ 500人	+27.8%	1.7%
その他	26,500 人	10,300 人	11,100 人	+ 15,400人	+138.7%	19.2%
合計	137,900 人	121,700 人	79,000 人	+ 58,900人	+74.6%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	24,100 人	24,100 人	+28.9%	25.9%	9,500 人	9,500 人	+156.8%	21.2%
韓国	29,300 人	29,300 人	+53.4%	31.5%	200 人	200 人	皆増	0.4%
中国本土	17,500 人	17,500 人	+69.9%	18.8%	8,200 人	8,200 人	皆増	18.3%
香港	16,500 人	16,500 人	+17.0%	17.7%	3,800 人	3,800 人	+1800.0%	8.5%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	+44.4%	1.4%	1,000 人	1,000 人	+11.1%	2.2%
その他	4,400 人	4,400 人	+15.8%	4.7%	22,100 人	5,900 人	+202.7%	49.3%
合計	93,100 人	93,100 人	+39.2%	100.0%	44,800 人	28,600 人	+270.2%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

3月は、各旅行会社の春休み旅行商品の販売状況は良好だったものの、一部航空会社において提供座席数が減少したこと等から、前年を下回った。

4月は、他方面との競合が懸念されるものの、各旅行会社の予約状況が良好なことや、羽田－宮古路線が就航したこと等から、堅調に推移する見込み。

### 大阪

3月は、各旅行会社の春休み旅行商品の販売状況が良好であったことに加えて、引き続き、伊丹－那覇や神戸－那覇路線が好調に推移したこと等から、前年を上回った。

4月は、各航空会社による団体旅行や、運航再開したANAの関西－宮古路線の予約状況が良好となっていること等から、好調に推移する見込み。

### 福岡

3月は、各旅行会社の春休み旅行商品の販売状況が良好であったことに加えて、スカイマークやピーチアビエーションによる福岡－那覇路線の拡充があったことから、前年を上回った。

4月は、各旅行会社の宿泊パッケージ等の旅行商品の予約状況が好調なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

### 名古屋

3月は、春休みの駆け込み需要もあり、旅行商品の販売状況が堅調であったことに加えて、引き続き、LCCが好調に推移したこと等から、前年を上回った。

4月は、名古屋－石垣路線の予約状況が好調なことや、宮古への直行チャーター便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

### 台湾

3月は、各航空会社による航空路線の増便や、定期クルーズ船の寄港回数の増加があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

4月は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

### 韓国

3月は、韓国では新学期開始に伴うオフシーズンであったものの、前年同月に比べて航空路線の拡充や、各航空会社及び旅行会社による旅行商品販売の取り組み強化があったこと等により、空路客を中心に前年を上回った。

4月以降は、5月に大韓航空によるソウル－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

### 中国本土・北京

3月は、お花見の旅行商品等、他方面との競合が懸念されたものの、北京及び天津－那覇路線ともに好調であったこと等から、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

4月以降は、中国国際航空による北京－那覇路線が増便したこと等から、順調に増加する見込み。

### 中国本土・上海

3月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、上海発クルーズ船が寄港したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

4月は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、上海発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

### 香港

3月は、復活節(イースター)による旅行需要や、香港発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

4月以降は、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、海路客を中心に好調に推移する見込み。